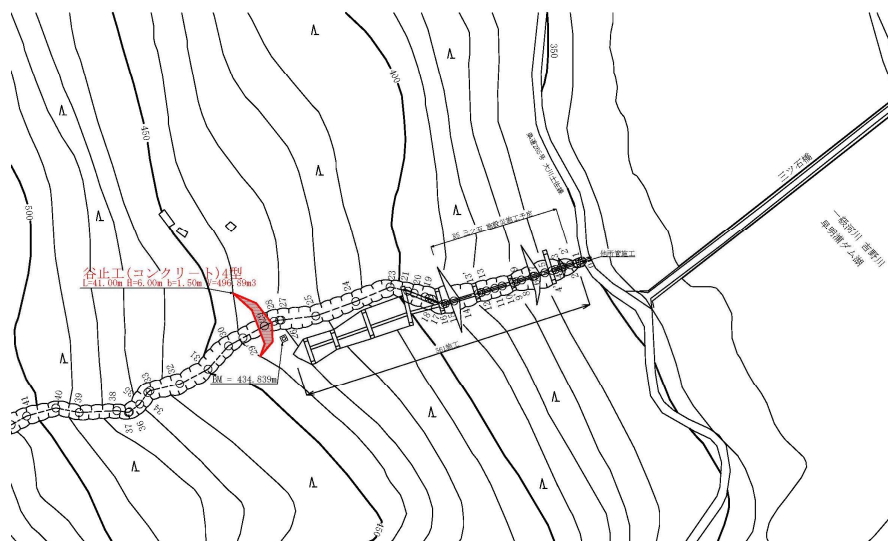


# 令和6年度 建設業デジタル化促進モデル事業 現場見学会

令和6年12月20日  
有限会社 岡本建設

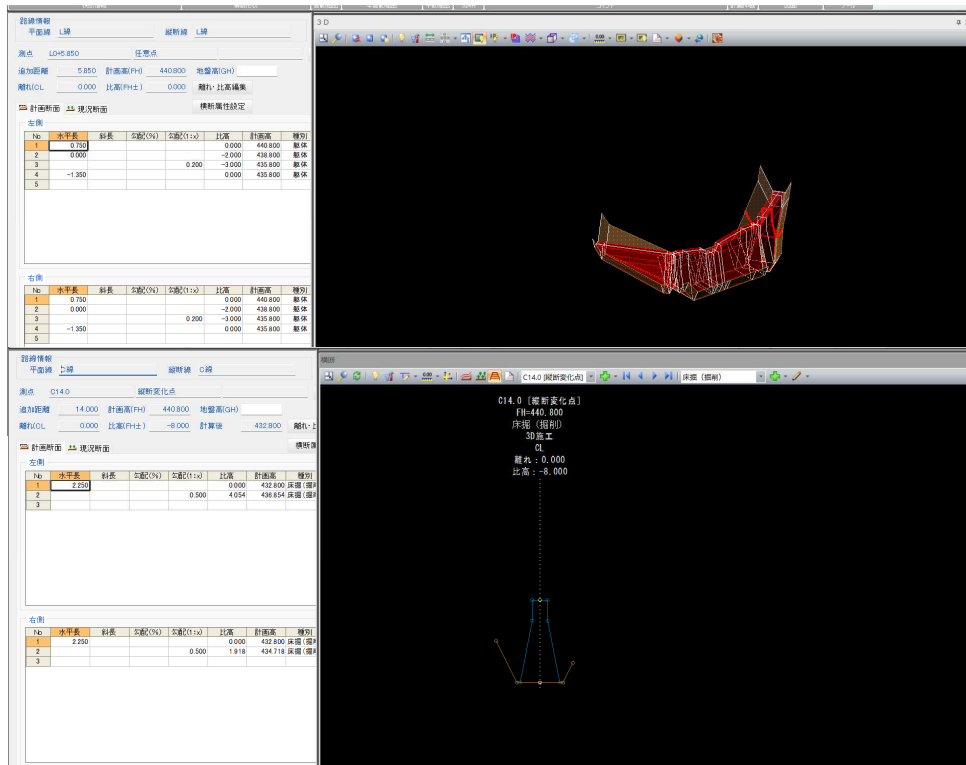
## 工事概要



工事番号：災関治山第905号  
工事名：三ツ石災害関連緊急治山工事  
工事場所：高知県土佐郡大川村三ツ石  
工期：令和6年3月1日～令和7年2月28日  
工事内容：溪間安定面積0.01ha  
谷止工1基（生コン）496.9m<sup>3</sup>  
仮設工1式



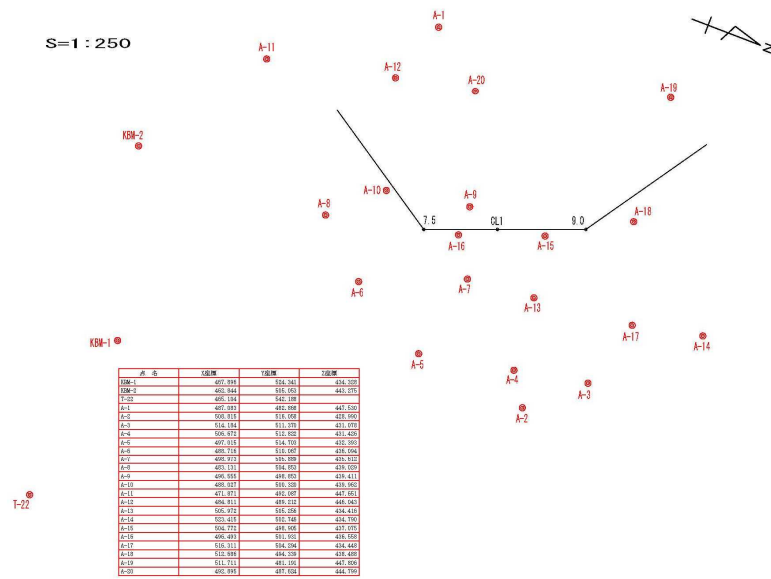
# 3D設計データの作成



現地に設置してあるダム軸方向杭  
これに任意座標を設置



# 基準点配置図面



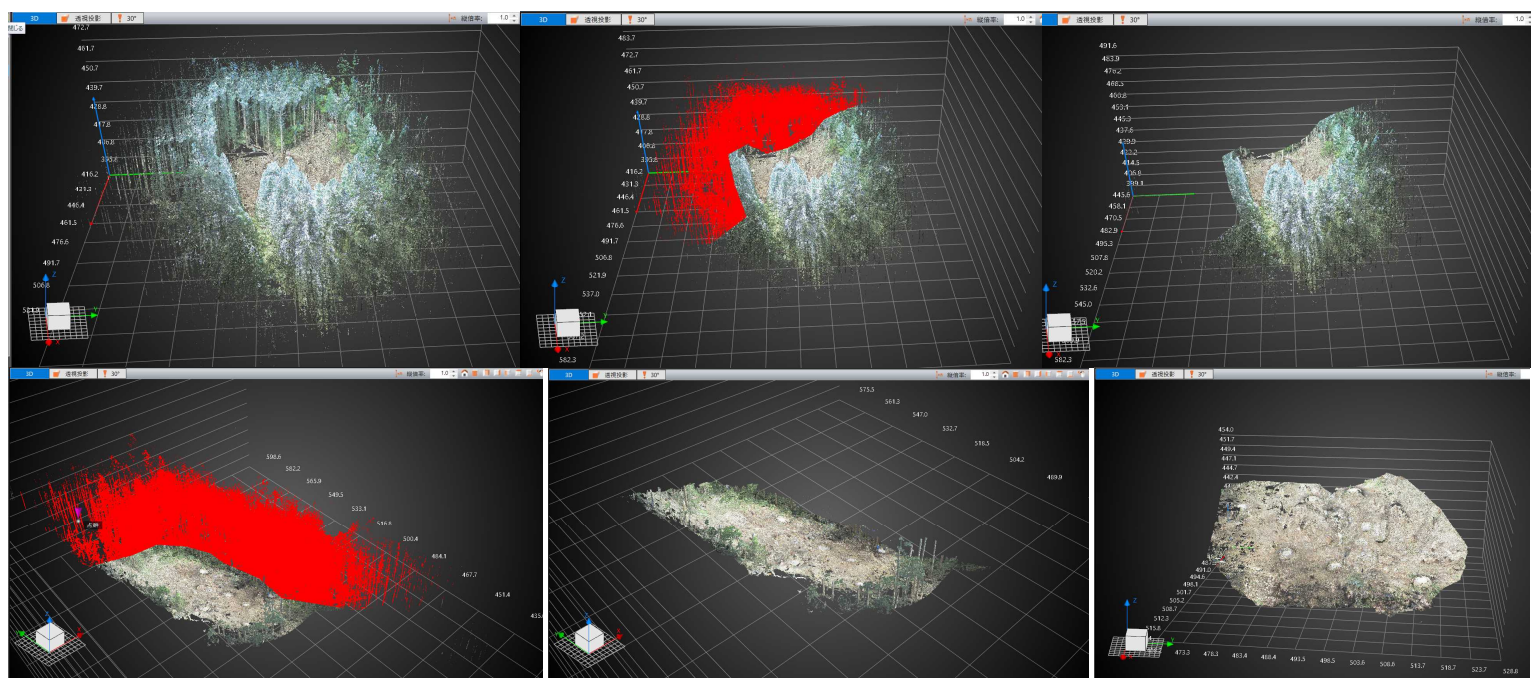
# 基準点設置の確認



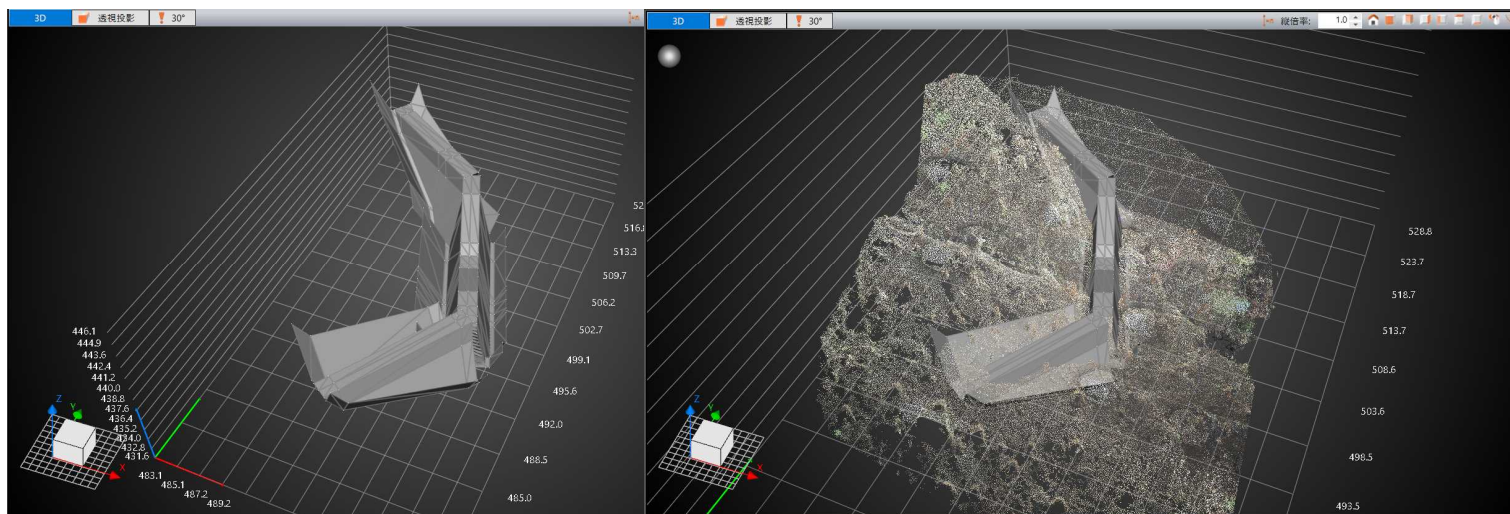
# レーザースキャナーによる測量



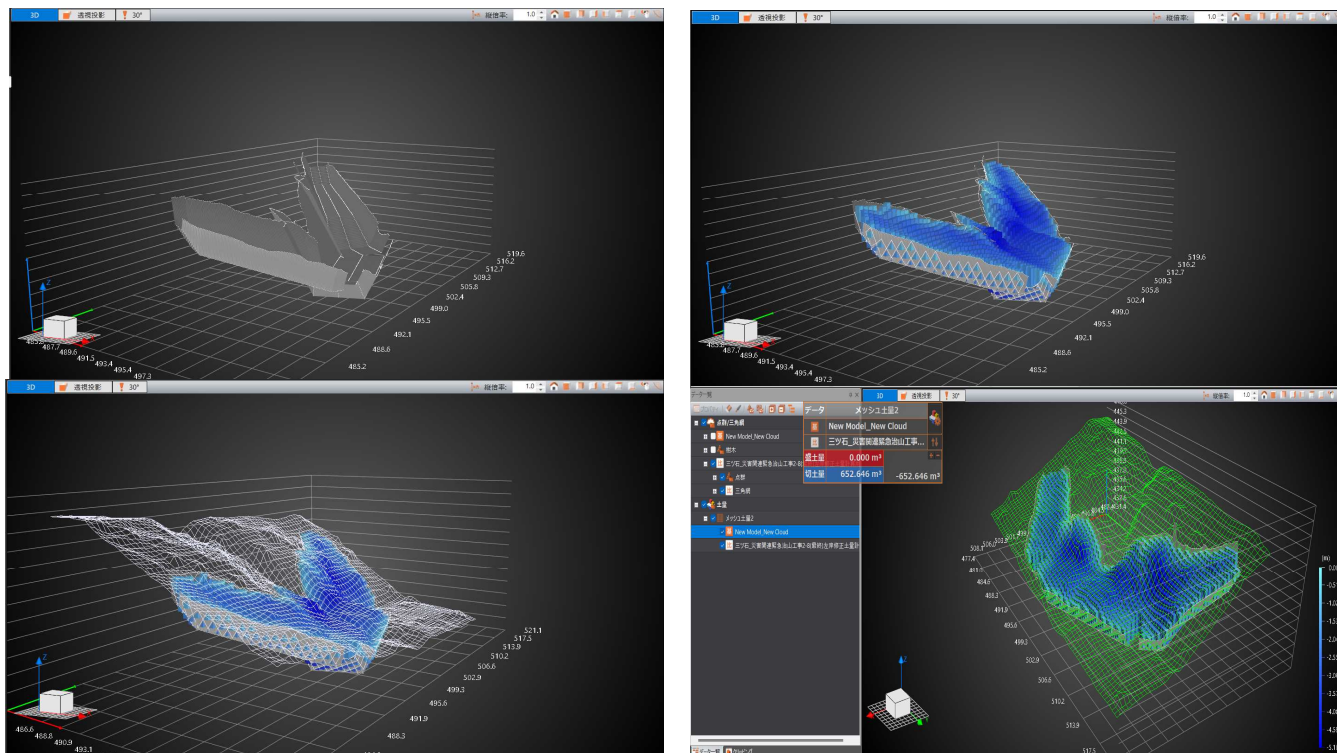
# 地形をスキャナーした3Dの点群処理



## 3D設計データと地形データを組み合わせ



## 3次元測量結果に基づいた、掘削土量の算出



## 掘削・床掘ラインの確認



## 掘削作業



## 反省点

○今回の現場は、重機（バックホウ）が自走で入場できなく、ケーブルクレーンを使用した分解組立の設計で、ICT建機の導入が出来なかった。その為、タブレットを使って掘削作業を確認していたが、測量側の人員のみで使用していたためオペレーターに細かい内容を伝えづらかった。

## まとめ

○本堤は折れ点がある構造物の為、従来の測量では複雑な丁張設置が必要で容易では無かったが、ICTを活用する事により容易になった。

又、当現場は掘削中に上流部が崩壊し再度切り直しが必要になったが、作業中断し丁張を設置する時間を省けたので迅速に作業を進める事が出来ました。

---